



市内の小・中学校13校の郷土史クラブが、研究成果の発表をさくらホールで行いました。子どもたちは、1年をかけて地域の歴史や偉人などについて研究。その成果を絵や写真などで工夫した手作りの資料を使って堂々と発表し、会場から大きな拍手が送られました。



大村湾の白島沖で養殖した地元産の美味しいカキを知ってもらおうと、大村港馬場先波止でカキまつりが開催されました。初日には、カキ入りのみそ汁がふるまわれ、行列ができるほど大盛況。訪れた人たちは、大村産の新鮮な海の幸をその場で焼いて堪能しました。



▶鈴田地区駅伝大会
脚を競い、地域の交流が深まる



鈴田地区の駅伝大会が行われました。走者たちは、チームの思いを力に変えて、懸命にタスキリレー。また、子ども会の駅伝マラソン大会も行われ、地域の親睦を深めました。



▶青少年交流ツアー
子どもたちの交流が深まる

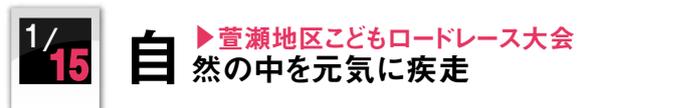


市内の小・中学生24人が、友好交流都市・島根県飯南町を訪れました。参加者は、地元の子もたちと一緒に伝統行事やスキーなどを楽しみながら、交流を深めました。



▶児童虐待防止啓発サッカー教室・講演会
スポーツから子育てのヒントを

児童虐待問題に関心を持ってもらおうと、V・ファーレン長崎の協力のもと、昊天宮保育園でサッカー教室を開催。その後、保護者を対象に子育てのコツを学ぶ講演会も開催されました。



▶萱瀬地区こどもロードレース大会
自然の中を元気に疾走

新春恒例のこどもロードレース大会が、萱瀬中周辺で行われました。地元の小・中学生に加え、県境の佐賀県鹿島市からも参加。沿道の声援を力に変えて健脚を競いました。

